

感染力の強い、18日までで時短営業を始めた飲食店に協力金を支給することを

北陸政府  
PHONE  
12日  
伊賀名張

# 夜にゆるりと初対面

世界最大級の両生類・オオサンショウウオ(国特別天然記念物)。3000万年前からほとんど姿を変えずにいる生物の限られた生息地が、名張市の赤目十八滝周辺にある。人の生活圏の近くで生きているが、主に夜にひっそりと活動するたためか、遭遇した経験がある人は少ないのではないかと、猛暑続きの夏でも大きな体で清流をゆるやかに泳がせて、彼らの生活をのぞき見させてもいた。

【山中尚登・久木田照子】

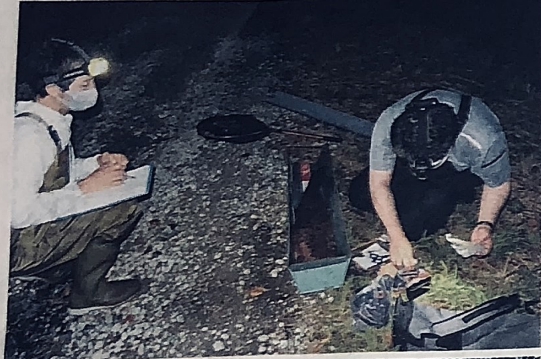


山中尚登記者が名張で最初に会ったオオサンショウウオ

野生のオオサンショウウオに基づき、市教育委員会の許可を得て調査を続けている。記者2人が向かったのは、奈良と三重を流れる宇陀川の支流で、名張市赤目地区の滝川。環境省の環境カウンセラー、川内彬宏さん(35)の定期調査に同行させてもらった。川内さんは名張市職員。文化財保護法

最初の地点は、近鉄名張駅から車で10分ほどの住宅街の近く。川がせき止めのカウンセラー、川内彬宏さん(35)の定期調査に同行させてもらった。川内さんは名張市職員。文化財保護法

この日は川村近の草刈りが行われたばかり。草やササの切り口を踏んで水辺を目指した。山中は短パンと素足にサンダル、久木田は胸までぬれない胴付き長靴姿。ヘッドライトに加えて、川内さんに借りた手持ちライトで水面を照らしてオオサンショウウオを探る。川に入って1分もたたな



川内彬宏さんの測定結果を記録用紙に記入する久木田照子記者(左)測定などのため一時的に川からすくい上げたオオサンショウウオ

## 環境カウンセラーと定期調査

午後8時ごろ、川内さんが「いましたよ」とにっこり。深さ30〜40センチの水中で、体長1メートルのオオサンショウウオが体をくねらせ、ゆるゆると進んでいる。カメラで撮影するのが間に合わず、あわてて首に下げたスマートフォンで撮った。数十秒のうちに、オオサンショウウオは私たちを避けるように岸辺の草の下に姿を消した。

「多分、この下にいます。隠れるのがうまい」。川内さんが数分の範囲を端から探る。一時捕獲して「身体測定」をするためだ。数分後に再び発見。川内さんが網ですくって身体測定用の箱に入れた。体の重みで背骨などが折れないよう、姿勢に気を付けて扱った。川内さんの経験則では、「こっちを向きたい、など『本人』の意思を尊重して動かす」と、いやがらない「そうだ」。

捕獲や測定をする時、体から音を出して威嚇したり、かみつこうとしたりするものもいるが、この個体はおとなしく協力してくれた。背中を触れると、ふにゃと柔らかい。川内さんがよると、怒っていると体がこわ張って硬くなるという。「人間と遭遇して怒りめ込み、DNA鑑定のため尾の組織を少し採取した」。

在来種か交雑種か。鑑定結果が出るまでは、赤目十八滝の入口にある展示施設「日本サンショウウオセンター」の専用水槽で一時的飼育する。今回も輸送用の箱に入れ、車でセンターに運んだ。体の表面の斑紋やおとなしい様子から、「在来種かもしれない」と期待してセンターを離れ、外來種が入り込んでいないとみられる、滝川の上流に向か



体長などを測定する川内さん

松島の「焼ちくわ」  
香芳 薫  
農林水産大臣賞 受賞  
厚生労働大臣賞 受賞  
谷ちくわ商店

きょうはこんな日

	紫外線	洗濯	熱中症
伊賀	2 やや強い	1 乾かない	3 厳重警戒
名張	2 やや強い	1 乾かない	3 厳重警戒
津	2 やや強い	1 乾かない	3 厳重警戒

きょうの行楽地

あすのこよみ  
8月14日(土) 旧暦7月7日 小潮  
5:50 月  
11:13 日  
18:43 月  
22:21 日  
23:38 月  
23:38 日  
23:38 月  
23:38 日  
23:38 月  
23:38 日

室戸海洋深層水株式会社  
MUROTO DEEP SEA WATER co.,LTD  
高知県室戸市室戸岬町3490  
TEL.0887-22-3202 FAX.0887-23-3204  
URL http://www.inforyoma.or.jp/mks/  
E-mail mks@mb.inforyoma.or.jp

紙面編集  
2次救急  
伊賀・名張  
上野総合  
伊賀市四十  
午後5時  
8時45分  
毎日新聞大阪  
送金は郵便  
12897  
10097  
12897